

令和7年6月24日全員協議会会議録（要旨）

（15：05 開会）

○八幡元弘議長

ただ今より全員協議会を開催する。本日の議題はお手元に配付のとおり、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金活用事業（案）についてである。井畑市長からあいさつ及び議題についての説明を願う。

○井畑明彦市長

一般質問初日お疲れさまでした。追加提案する令和7年度物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金活用事業の案ということで、財政課長並びに該当する課から主なものを説明する。今定例会の初日に申し上げた通り、国から示された金額が手元の資料の一番下、市に対し国費1,583万円という金額である。悩ましい金額で、何にどう充てれば効果を産めるのか見出し難いところだが、時間が無い中、各課で本当に困っている方に何らかの支援をできればということで、予算規模は一番下に掲げる1,616万円となる。確認の上、理解いただきたい。

さらに国でまた臨時交付金という話があり、所得にかかわらず1人2万円とか、子どもに対して上乗せ分などの話があり、我々はまた時間を費やし様々上乗せ分や市の対応を考えることとなるが、それを踏まえ動向を見守りながら、国の物価高騰対策に必要な応じて柔軟かつ迅速にお示しする内容が出てくることも、あらかじめ想定しておいていただければありがたい。

○藤川財政課長から令和7年度物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金活用事業案について説明

○八幡元弘議長

執行部から説明のあった臨時交付金活用事業について質問あるか。

○渡辺栄六議員

こども食堂物価高騰対策支援事業は2ヶ所で30万円だが、この2ヶ所のこども食堂の開設は月に何回か、利用者は何人ぐらいか。

○金子福祉介護課長

2ヶ所は、子どもを広く受け入れ定期的、継続的に運営している団体で、本来3ヶ所

あるが、まだ2ヶ所しか継続的、定期的に行っていないため2ヶ所である。いずれの団体も開催頻度は月1回、定員は30人、利用人数は20人から40人の間である。

○渡辺栄六議員

年代層は小学生から高校生までと幅広いが、どんな学年が一番利用しているか。

○金子福祉介護課長

未就学児から大体小学生ぐらいまでと聞いている。

○増子達也議員

5番6番、8番で、食材に対しての補助、補填となるが、小学校、中学校と保育園では単価が違い、小学校、中学校はセントラルキッチン方式を用いて単価が安くなっているが、この単価の違いを説明願う。

○梅津子ども支援課長

市立、私立保育園共に32円という単価で設定している。9保育園あるが、各園において食材を発注し納入する。一括発注で大量仕入れができないため、おそらく小学校よりも単価が高いと思われる。

○井上学校教育課長。

学校給食では12円、17円となるが、学校の場合は一括発注、大量仕入れとなる。保育園とは仕入先が異なる部分もあり、単価が変わるものとする。

○増子達也議員

単価は物価高騰した分だけという計算をしているか。

○梅津子ども支援課長。

保育園の単価は昨年4月、今年4月に豆腐、卵、小麦、牛乳といった大量に使うものの平均差額が32円というところで計算している。

○井上学校教育課長。

学校給食は昨年も給食費を値上げしたが、4月から毎日使う米と牛乳について値上げがあり影響が大きいので、米と牛乳分について要求するものである。

(なし)

○八幡元弘議長

ないようなのでこれで質問を終わる。その他、執行部から何かあるか。

(なし)

○八幡元弘議長

議員から何かあるか。

(なし)

○八幡元弘議長

以上で全員協議会の議題は終了した。これをもって閉会とする。

(15 : 21 閉会)